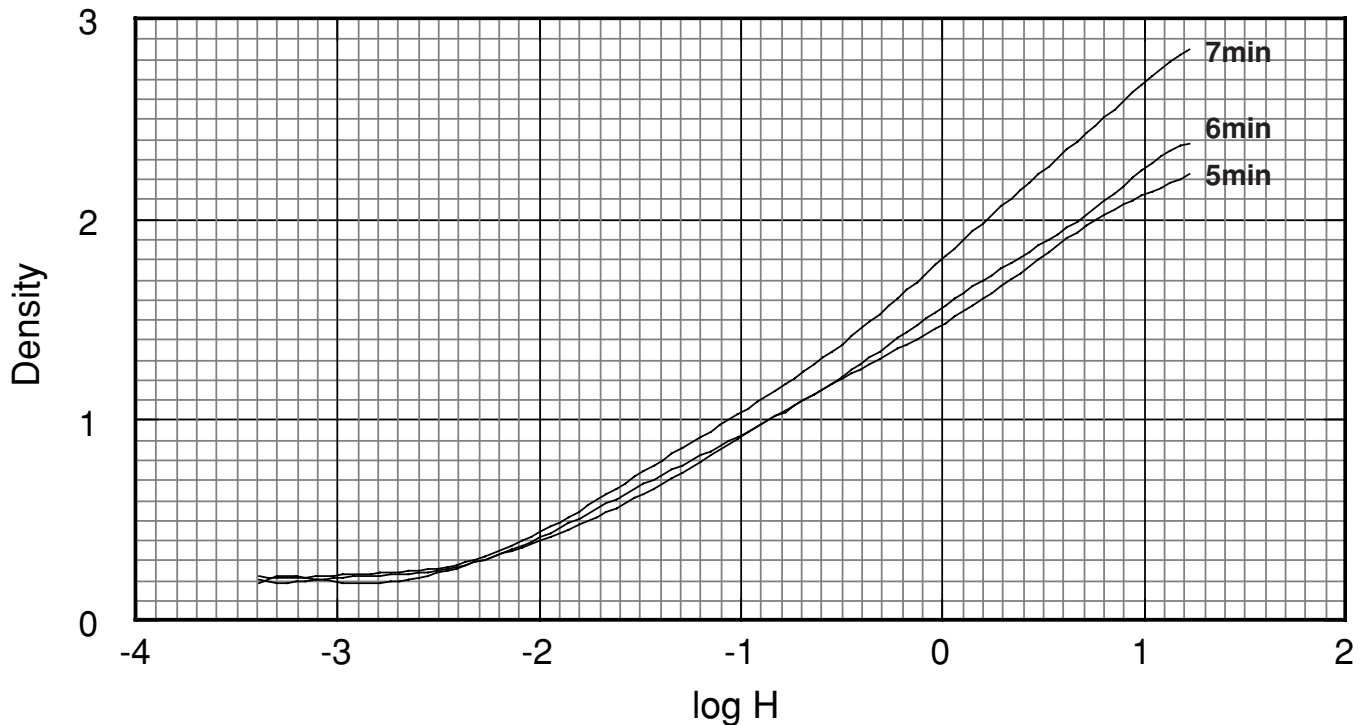


T-MAX 100 Professional + T-MAX Developer

立ち上がりが緩やかで、直線性が優れる、といった単乳剤層のフィルムの典型的特性を持っています。すなわち、シャドー部は軟調でハイライト部は肩部がないために硬調になります。国内で入手できるほとんどの印画紙(ハイライト部分が硬調でシャドー部分が軟調)と合わせると、シャドー部がやわらかくなりすぎ、ハイライトは飛びすぎになります("T-MAX調"と私が呼ぶ独特のグラデーションです)。

このフィルムで自然な階調を得るためには、ハイライトが軟調でシャドー部分が硬いという特性の印画紙が必要で、国内では一部の印画紙しかありません。しかしその印画紙でも、ハイライトがどこまでも直線というT-MAX独特の特性のためか、あまり自然には再現できないようです。

現像時間(分)	ISO相当感度	Contrast Index	平均階調度(G)
5	142	0.46	0.47
6	160	0.47	0.48
7	175	0.53	0.53



T-MAX 100 with T-MAX Developer(1:4)